

令和2年度 第8回教育研究評議会議事要旨

日 時 令和2年12月9日（水） 13時30分～15時05分（オンライン会議）
出席者 学長，田村理事，河田理事，細井理事，松田理事，藪田理事，藤井副学長，
松浦副学長，安延副学長，山口副学長，山根，岸本，黒沢，景山，後藤，岩井，
霜村，猪迫，東，日笠，住川，山中，川村，三島の各評議員
陪席者 田中監事，大野学長室副室長，松見学長顧問，藤村学長顧問

議事に先立ち，12月1日及び2日に医学部学生の新型コロナウイルス感染者が発生したこと及び判明後の対応等について報告があり，引き続き，令和2年度第7回（11月11日開催）議事要旨を承認した。

議 題

1. 教育支援・国際交流推進機構の改組

教学マネジメント及びデータサイエンス教育等の課題に対応するため，教育支援・国際交流推進機構を改組すること，並びに改組後の組織に副理事及び学長管理定数による教員を配置することの必要性等について資料に基づき説明の後，審議し承認した。

2. 鳥取大学鳥取地区体育施設使用規則の一部改正

鳥取地区体育施設の有効利用，使用者の利便性向上，事故等発生時の対応強化等に資することを目的として，使用の優先順位を明確にし，使用申込みの方法を改めることに伴い，鳥取大学鳥取地区体育施設使用規則を一部改正することについて，資料に基づき説明の後，審議し承認した。

3. 令和5（2023）年度入学者選抜の実施教科・科目

令和5（2023）年度入学者選抜にかかる実施教科・科目について，前年度実施分から内容を変更することなく公表する旨，資料に基づき説明の後，審議し承認した。

4. 鳥取大学生物災害等防止安全管理規則の廃止並びに鳥取大学感染症予防安全管理規則及び鳥取大学家畜伝染病等予防安全管理規則の制定

鳥取大学生物災害等防止安全管理規則で定めている，人に対する感染症の発生及びまん延の防止のための安全管理に関する事項及び家畜及び動物に対する伝染性疾患の発生及びまん延の防止のための安全管理に関する事項について，それぞれの準拠法ごとに定めるため，以下の規則を整備することについて，資料に基づき説明の後，審議し承認した。

- ・鳥取大学生物災害等防止安全管理規則（廃止）
- ・鳥取大学感染症予防安全管理規則（制定）
- ・鳥取大学家畜伝染病等予防安全管理規則（制定）

5. 先進機械電子システム研究センター（AMES）の学部附属教育研究施設としての設置に係る規則の一部改正

ものづくり基盤技術の創成と次世代若手研究者の育成に寄与することを目的として，工学部に附属先進機械電子システム研究センターを設置することに伴い，鳥取大学学則及び鳥取大学工学部規則の一部を改正することについて，資料に基づき説明の後，審議し

承認した。

6. 独立行政法人国際協力機構（JICA）との人事交流

独立行政法人国際協力機構（JICA）との人事交流協定による職員1名の受入期間が令和3年3月末で満了することに伴い、当該期間を6月延長し、延長期間終了後に再度の協定を締結する旨、資料に基づき説明の後、審議し承認した。

7. 名誉教授の選考

鳥取大学名誉教授称号授与規程第2条の該当者として推薦のあった次の被推薦者1名について、医学部長から資料に基づき業績等の説明があった。

引き続き、名誉教授の称号授与について可否投票を行った結果、出席評議員の4分の3以上の賛同を得たため、令和3年1月1日付けで鳥取大学名誉教授の称号を授与することを承認した。

【医学部】 竹内 裕美（令和2年12月31日付け退職）

8. 教員の休職期間

心身の故障により、長期の休養を要する准教授（教育支援・国際交流推進機構）の休職期間について、資料に基づき説明の後、審議し承認した。

報 告

1. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）

国立大学法人評価委員会から意見照会があった「令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）」について、部局還流の上、一部修正する意見を回答した旨、資料に基づき報告があった。

2. 令和3年度鳥取大学入学者選抜試験実施状況

令和3年度総合型選抜及び学校推薦型選抜Ⅰの実施状況並びに過去の実績との比較等について、資料に基づき報告があった。

3. 令和3年度鳥取大学大学入学共通テストの実施

令和3年度大学入学共通テストの日程、実施体制及び説明会の開催予定等について、資料に基づき説明及び協力依頼があった。

4. 「競争的研究費において雇用される若手研究者の自発的な研究活動等に関する要項」の制定

競争的研究費により雇用される若手研究者について、一定の要件のもとに自発的な研究活動等を認めること等について定めるため、「競争的研究費において雇用される若手研究者の自発的な研究活動等に関する要項」を制定した旨、資料に基づき報告があった。

5. 「競争的研究費の直接経費から研究以外の業務の代行に係る支出を行うことに関する要項」の制定

本学におけるバイアウト制度の運用について定めるため、「競争的研究費の直接経費から研究以外の業務の代行に係る支出を行うことに関する要項」を制定した旨、資料に

基づき報告があった。

6. 「鳥取大学における安全保障輸出管理実施要項」の制定

鳥取大学安全保障輸出管理規則に基づき、本学の職員等が行う輸出管理に係る手続等を定めるため、「鳥取大学における安全保障輸出管理実施要項」を制定した旨、資料に基づき報告があった。

7. 令和2年度鳥取大学長表彰被表彰者の決定

令和2年度鳥取大学長表彰について、理事・副学長等で構成する選考委員会で選考した結果、以下の6組を被表彰者として決定した旨、資料に基づき報告があった。

- ・医学部教授 谷口 晋一
- ・工学部教授 李 相錫, 准教授 土屋 哲, 教授 原 豊, 教授 小野 祐輔
- ・農学部教授 遠藤 常嘉
- ・乾燥地研究センター教授 恒川 篤史
- ・医学部附属病院感染症内科長（寄附講座教授）千酌 浩樹
- ・地域学部『新版 地域政策入門』及び『アートがひらく地域のこれから』著者グループ

8. 令和2年度第1次学内補正予算

役員会で承認された令和2年度第1次学内補正予算及び当該補正予算に係る執行計画の概要について、資料に基づき報告があった。

9. 目的積立金の事業計画

文部科学大臣から承認を受けた目的積立金のうち大学分について、教育研究の質の向上を図るため施設・設備の整備に充当する事業計画を実施する旨、資料に基づき報告があった。

10. 第3期中期目標期間経費削減に向けての取り組み

近年、本学におけるカラープリントが増加傾向にあるため、資料作成を工夫するなどしてカラープリントの削減に取り組んでいただきたい旨説明があった。

11. 令和2年度学長裁量経費の採択

令和2年度学長裁量経費について、大学改革推進経費2件を採択した旨、資料に基づき報告があった。

12. その他

①年始の行事

年始に実施する仕事始め式の日程等について、資料に基づき説明があった。

なお、例年実施している仕事納め式は、本年は実施しない旨併せて説明があった。

②次回開催予定

次回の定例開催日は1月13日（水）である旨、説明があった。